山口県教職員団体連合会 第68回定期大会 開催!

資質向上のための研修活動の充実を　子供と向き合える教育環境の整備を

質の高い教育の推進のために

義務教育費国庫負担制度の確立を　職務に見合った給与制度の確立を

県教連情報

発行
山口県教職員団体連合会
代表者　山本　純
編集人　田中　元晴
山口市大手町教育会館内
電話 (083) 922-2049番
FAX (083) 921-0907番
E-mail:
kyoren@orange.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkyouren.com

平成30年度 組織運営(要旨)

平成30年度 県教連活動目標

県教連の再盛 ～県教連の未来のために 1分会1加入～

今年度も県教連は、組織拡大を最重要の課題として、運動を展開していきます。ここ数年、大量退職・昇任人事等により、毎年会員数が減少しており、県教連存続の危機が現実味を帯びてきました。山口県教育の正常化のために、県教連は必要な教職員団体です。その存在感と発言力を高めるには会員数を増やし、組織率を上げていく必要があります。

そこで、今年度の組織活動の目標を、「県教連の再盛～県教連の未来のために、1分会1加入～」としました。

「1分会1加入」は現実的ではないかもしれませんが、それを達成するくらいの強い意志をもって組織拡大・強化に取り組んでいかなくては、数年後には県教連はなくなってしまいます。一度なくなってしまうと、再び立ち上げるのは至難の業です。山口県の教育の正常化を願い、全国に先駆けて誕生した県教連が失われることは、あってはならないことです。県教連を全会員の力で再び盛り上げていきましょう。

今年度の運動方針について、3つの柱「Ⅰ　組織を拡大する運動」、「Ⅱ　教育環境・生活環境の整備をめざす運動」、「Ⅲ　資質向上のための研修の充実を目指す運動」の概要を掲載しています。是非御覧ください。

県教連にはあなたの力が必要です!
あなたの存在が県教連の力になります!

県教連に期待を込めて!

全日教連副委員長
小林 昭宏 氏

県教連の皆様には、全日教連の諸活動に対して、御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成30年度予算では、英語専科指導教員が1,000人配置されました。文科省は32年度までに4,000人を措置するとしており、小学校英語は専科教員が指導にあたるべきとする全日教連の主張が受け入れられました。

全日教連は、授業時数をこれ以上増やすことがないよう、先生方の情熱や技術・経験を十分に発揮できる、教育環境の整備が進むよう、関係機関に求めてまいります。

衆議院議員長
河村 建夫 氏

伝統ある県教連定期大会の開催、おめでとうございます。今、小学校の英語専科教員の配置が課題になっています。他国に遅れをとっている日本の英語教育において、特に小学校からの英語教育を充実させることが重要だと考えています。県教連の皆様は、働き方改革を始め、現場の様々な課題の改善等、山口県教育をより良くするために尽力しておられます。今後も自信と自覚をもって頑張っていただけることを期待しています。

衆議院議員
岸　信夫 氏

県教連の皆様には、人づくりの根幹を成す教育を担い、日々御尽力いただいていることに敬意を表します。教育の正常化という大きな目標に向かって活動されている中で、日本が更に輝く国になっていくことを願っています。日々、厳しい職場環境の中で、子供たちのために努力されている先生方に対して、国や県もしっかり支えていかなくてはなりません。皆様が働きやすい環境を整えていくために、国の方でもしっかり議論していきます。

衆議院議員
古田 圭一 氏

第68回定期大会の開催、誠におめでとうございます。私は現在、文部科学委員会を中心に活動しています。本国会では、デジタル教科書に係る学校教育法の改正や文化財保護法の改正等の成立に関わってきました。今後も、子供たちや学生、そして社会人、全ての人が質の高い教育を受けられるよう、力を入れてまいります。また、現場で頑張っておられる教職員の皆様方の勤務条件や教育環境の改善に向けても、尽力してまいります。

文部科学大臣
林　芳正 氏

日頃より、現場で子供たちのために御尽力いただいていることに御礼を申し上げます。

現在、教育に関する新しい施策と働き方改革の両立が課題になっています。アクティブ・ラーニングや外国語教育等がスムーズに現場で行えるように、行政も知恵を絞っていきます。また、教育再生実行会議では、教育現場の代表として河野　達信先生(県教連賛助会員)の声を国の施策に反映させていきます。先生方には、新しい学びと働き方改革の両立に向けて、御活躍されることを期待しています。

県教育委員会教育長
浅原　司 氏

県教連の皆様には、本県が進める教育行政に御支援、御協力いただき、感謝申し上げます。

人口減少が続く現在にあって、ふるさと山口を愛する子供の育成や地域を担う人材の育成等、山口の未来を担う子供たちを育む教育環境の更なる充実を図る必要があります。そのためには、教育現場で日々、児童生徒と向き合っていらっしゃる先生方のお力が必要です。今後もたくましい山口っ子の育成に向けて一層のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。

平成30年度 運動方針(概要)

Ⅰ 組織を拡大する運動

1 分会訪問・組織対策学習会

分会訪問は、組織拡大において最も重要な活動だと考えています。更に、分会の枠を越えて行われる組織拡大の活動も支援していくことが必要と考え、今年度より組織対策学習会を新設します。

分会訪問や組織対策学習会で、県教連の必要性を未加入者にアピールし、県教連についての理解を深め、新規加入につなげていきます。

2 企画研修部の設置

今年度より、女性教職員部と青年部を統合し、企画研修部とします。企画研修部では、組織対策を念頭におきながら、資質向上を目指す研修会等を企画し、組織の拡大・強化につなげていきます。

3 研修会・各種行事

魅力的な研修会や各種行事を企画し、会員及び未加入者への参加を積極的に呼びかけていきます。研修会で得た知識やスキルを日々の教育活動で実践していく姿が未加入者の心をきっと動かし、組織の拡大につながると考えます。

4 情報提供・広報活動

県教連情報・メール通信・Webページ等、それぞれの特性を生かした情報発信に努めます。加入者拡大キャンペーンは、8月末までの第1弾、12月末までの第2弾、3月末までの第3弾という形で展開していきます。加入促進用のチラシは、タイムリーな話題を取り入れたものを作成していきます。

5 互助・支援活動

昨年度から始まった「全日教連　団体長期障害所得補償保険」や、再任用会員のメリットについて、周知していきます。

今年度から、新規会員加入率と新規加入会員獲得数の2つの部門で顕著な結果を残した単組の表彰及び支援を行います。また、新規加入者獲得に尽力した会員もしくは分会に対しても支援を行います。

6 交渉活動

会員の方々が、「県教連が、現場の声を行政に届けてくれる!」「小さな疑問、小さな声を県教連に集めれば、行政が動く!」ということを実感し、県教連の存在意義を再認識することで、組織の拡大が加速すると考えます。

7 山口教育文化研究所との連携

教育講演会や親守詩山口大会を山口教文研と共催することで、県教連の活動や理念等について会員はもとより、広く県民に理解してもらう機会とします。